

# 財閥経営してみよう

宇都宮商議所と渋沢財団

高校生ら参加し模擬講座

学生らにビジネスへの関心を深めてもらうことなどを目的に、「企業M&Aシミュレーション講座」が10日、宇

都宮市大通り1丁目の宇都宮共和大で開かれ、高校生や若手経営者らが企業グループの成長モデルを提示し、



企業グループの成長モデルを議論する高校生たち＝10日午後、宇都宮共和大

企業買収などを模擬体験した。

宇都宮商工会議所と渋沢栄一記念財団が共催する企業家精神再発見事業の一環。宇都宮商業高、宇都宮共和大、同商議所青年部、中小企業診断士の4グループが、1887年ごろの財閥経営者の立場で、10年後の成長を目指して新規事業への投資などを展開した。

利益率の高い企業への出資や買収提案をめぐっては、グループ間の交渉が過熱する場面もあった。同高3年の村上修君(17)は「経営について興味が深まった。シミュレーションだが、人とのコミュニケーション、かかわりが大切だと感じた」と話した。